

令和3年度 ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	地球環境と産業化研究会		
団体の所在地	神戸市北区	代表者名	伊熊 敏郎

1. 事業名	2050カーボンニュートラル実現に向けた担い手の育成（教育・啓発活動）
2. 実施期間	令和3年4月1日～令和4年1月28日
3. 主な実施場所	オンライン（Zoom）
4. 活動形態	<input type="checkbox"/> 団体立ち上げ（スタートアップ） <input checked="" type="checkbox"/> 実践活動 <input type="checkbox"/> 調査活動 <input type="checkbox"/> 環境パートナーシップ事業（協働団体名： ）
5. 活動内容・結果	<p>(1)地球環境問題にかかわる一般公開の学習会やセミナー、見学会の開催</p> <p>●基礎講座『SDGsと地球環境問題 — 破滅的事態に至らないために今すべきことはなにか？（1日目、2日目）』（実施日6/26、7/3）：各回の参加者20（うち学生4）、23（うち学生4）（申込数33、28）</p> <p>●基礎講座『地球環境とエネルギー — 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて（1日目、2日目）』（実施日11/20、11/27）：各回の参加者22（うち学生3）、20（うち学生4）（申込数29、30）</p> <p>(2)事業（教育・啓発活動）継続のため財政基盤の確保と公開講座の企画への反映</p> <p>●第8回勉強会『人工光合成とは？ 今どこまで進んでいるのか？』（実施日8/18）：参加者25（申込数27）</p> <p>●第9回勉強会『バイオ燃料の現状と将来 — 化石燃料代替の輸送用燃料からバイオモノづくりまで』（実施日12/8）：参加者16（申込数17）</p> <p>●ひょうごユースecoフォーラムに参加、ポスター展示とチラシ配布（実施日12/22）</p> <p>●2022新春セミナー『脱炭素経営への挑戦 ～カーボンニュートラルを目指した企業の戦略的プランと地域社会への貢献～』（実施日1/27）：参加者14（申込数16）</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>公開講座や勉強会、セミナーなどを開催することで、企業や地域、若い世代などの有志（参加者の延べ人数142）が地球環境問題を学ぶ機会が創出され、「2050カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みの輪を広げていくことができた。公開講座や勉強会、セミナーのアンケート回答者ほぼ全員から、各回の内容と運営についてともに「非常に良かった」「良かった」との評価を得ている。</p> <p>また、オンライン形式でのイベント開催の利便性から、全国各地や海外からの参加者もあり、各地の実態を知るなど幅広い意見交換ができた。</p> <p>反省点には、(1)オンライン方式（Zoomのみ）でのイベント開催のみとしたため、参加希望者側でのウェビナーツールの利用制約のために参加できないことや、エネルギー・環境施設の見学や対面での情報交換（一昨年度は勉強会など同日に情報交換会を開催）が実施できなかったことなどにより、幅広い交流のための機会が失われた。また、(2)幅広い年齢層からの参加を期待し、①イベント告知サイトの利用や、②無料の公開講座開催では関係各所へのチラシ配布、③有料の勉強会やセミナー開催では学生に若干名の無料参加枠を設けるなどの策を講じたが、若年層からの参加が少なかったことなどが挙げられる。</p> <p>これらの反省点は、次年度の検討課題とする。</p>
7. 成果物	なし
8. 活動写真・説明	<p>写真①～③に「基礎講座や勉強会、ポスター展示の様子」を写す（①と②はオンラインのためパソコン画面のスクリーンショット）</p> <p>①基礎講座『地球環境とエネルギー』（令和3年11月）</p> <p>②勉強会『バイオ燃料の現状と将来』（令和3年12月）</p> <p>③ひょうごユースecoフォーラムでのポスター展示（令和3年12月）</p>   